様式

令和●年●月●日

契約担当者

兵庫県○○県民局（センター）長　様

所在地

名　称

代表者名　　　　　　　　　（押印不要）

通知書

下記のとおり、建設業法第20条の２第２項に基づき、発生するおそれがあると認める工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報を通知します。

記

工事番号：

工事名：

□主要な資機材の供給の不足若しくは遅延又は資機材の価格の高騰

（建設業法施行規則 第13条の14 第２項 第１号）

発生するおそれのある事象※：（例） 国際的な石炭価格上昇に伴う コンクリート価格の高騰

上記事象の状況の把握のため必要な情報の入手先：（例）報道等のURLを記載又はファイルを別添

※天災その他自然的又は人為的な事象により生じる発注者と受注者の双方の責めに帰することができ

ないものを記載

□特定の建設工事の種類における労務の供給の不足又は価格の高騰

（建設業法施行規則 第13条の14 第２項 第２号）

発生するおそれのある事象※：（例） ○○地震の復旧工事の本格化による交通誘導員の不足

上記事象の状況の把握のため必要な情報の入手先：（例）報道等のURLを記載又はファイルを別添

※天災その他自然的又は人為的な事象により生じる発注者と受注者の双方の責めに帰することができ

ないものを記載

その他連絡事項（空欄可）（自由記述：上記のほか工期等に影響を与えることが想定される情報等）

（注）１．本通知書については、建設業法施行規則第13条の14第２項に規定する事象が発生するおそれがあると認めるときに提出するものであり、当該事象の発生するおそれが認められない場合は、提出を求めるものではありません。

２．本通知書を提出する場合を提出する場合は、落札決定（随意契約の場合に

　あっては、契約の相手方の決定）から契約締結までに提出してください。

３．「上記事象の状況の把握のため必要な情報の入手先の入手先」欄においては、

受注予定者の通常の事業活動において把握でき、メディア記事、資材業者の記

者発表あるいは公的主体や業界団体などにより作成・更新された一定の客観性

を有する統計資料等に裏付けられた情報を用いてください。（一の資材業者の口頭のみによる情報など、真偽を確認することが困難である情報は除かれることに留意することが困難である情報は除かれることに留意してください。）

４．本通知書により通知した事象が契約締結後に顕在化した場合は、建設業法第

20条の２第３項により、請負契約の変更についての協議を受注者から発注者に対して申し出ることができますが、当該協議については、本件工事の請負契約

の規定等（スライド条項の運用基準等を含む。）に基づき対応を行うものである

ことに留意してください。

５．本通知書を提出していない場合であっても、本件工事の請負契約の規定に基

づき、請負契約の変更について発注者に対して発注者に対して受注者から協議

を申し出ることができます。

６．本通知書の提出により、本県工事の請負契約を変更する担保とはなりません。

７．受注予定者は、通知書及び裏付け資料等を持参又はメールで提出するものとし、メール提出の場合は、電話で契約担当者に提出した旨を伝えてください。